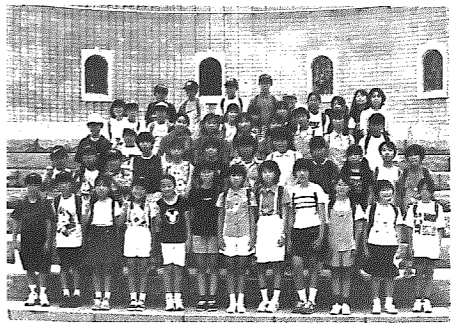


姉妹町村
美浦村のホット情報

楽しく学んで みんな仲良く

ジュニア・アカデミー開級

六月二十八日、人気のジュニア・アカデミーが茨城県日立シビックセンターで開級し、四十六名が参加しました。このアカデミーは、小学5・6年生を対象とした美浦村少年教室の愛称で、何事も自分でやり遂げるという自立心の育成、学校や学年を越えた仲間とのコミュニケーションを通して、その社会性を培うことを目的に毎回楽しい行事を行っています。



アカデミーに参加した小学生たち

いる筑波登山が、雨で中止になり、今回のセンター見学が1回目

特別表彰
議会議員在職40年



このたび、長年にわたり町議会議員として地方自治の振興発展に貢献された功績により、佐藤三三議員が県町村議会議長会から特別功労者として表彰されました。おめでとうございます。

ふる里物語

町史編さんだより ③⑥

旗本知行地としての歩み

横越町の江戸時代の歴史について考えると、旗本小浜氏の知行地があったことは、大きな特色の一つといえます。旗本は江戸幕府の基盤を支えた集団で、ある研究者によれば、江戸時代の後期における旗本の総数は約五二〇〇名であったといわれています。その内、知行地をもつ旗本は約二二六〇名で半数に及ばず、六〇〇石以上を所有する旗本となると、わずかに三

九名、全体の1%にしかすぎませんでした。その極めて上位に位置する旗本の一人に「小浜氏」がいます。小浜氏初代景隆は、武田勝頼に仕えましたが、後に徳川家康に仕え、相模・上総両国の内に三〇〇〇石を与えられました。五代行隆の時に、領地六〇〇〇石が摂津国より越後国蒲原郡の内に移され、ここに越後小浜領が成立します。

小浜領の村々は一九か村で横越町を含む現六市四町に点在しており、当初は「沢海村」「上木津村」「下木津村」「小杉村」の四か村が小浜氏の知行地でした。

幕府代官から小浜氏に対して知行引き渡し完了する宝永四(一七〇七)年三月から、領地が削封される天保十三(一八四二)年まではこの四か村が小浜領でしたが、削封後「沢海村」だけは引き続き小浜領として残り、明治維新を迎えました。



小浜氏沢海陣屋跡地(現 光円寺)

目的の行事となりました。見学地の同センター科学館では、シャボン玉ショーや科学実験マシン、天球劇場など不思議な世界を体験。みんなで仲良く楽しく学ぶがジュニア・アカデミーの基本です。

広域施設めぐり
参加者募集

横越町など18市町村で構成する新潟地域広域市町村圏協議会では、第四回新潟広域施設めぐりを開催いたします。

- ▼開催日 10月15日(水)
- ▼午前9時横越町役場集合
- ▼コース 福島潟公園・阿賀北広域組合環境センター・水原代官所・孝順寺・京ヶ瀬村立

図書館
▼参加費用 大人1,000円、子供500円。昼食・雨具・筆記用具は各自用意。
▼募集定員 横越町、亀田町、小須戸町、新津市から40人。(多数の場合は抽選)

▼申込締切 9月24日(水)
▼申し込み・問い合わせ先 官製ハガキに「広域施設めぐり希望」と明記のうえ、住所氏名、年齢、電話番号を記入し、次のところまで。
〒950-02 横越町役場企画財政課企画広報係
☎385-2111
はがき一枚で二名まで記入できます(小学生以下は保護者同伴)。

耳よりの情報

～広域情報ネットワーク～

〈新津市〉
◎新津市美術館オープン
▶期 日 10月1日(水)
▶場 所 新津市大字蒲ヶ沢109-1 ☎0250-25-1301
▶開館時間 午前10時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
オープンを記念して、10月1日にはシンポジウム、10月1日～11月23日には笹岡一展、その他にもイベントが盛り沢山。詳しくは、新津市美術館まで。

〈笹神村〉
◎新潟ロシア村のマンモス展
○マンモスマンガ展
▶期 間 平成10年5月5日まで
▶場 所 ロシア村内 マールイ美術館
◎生命の進化と巨大マンモス展
▶期 間 平成10年10月25日まで
▶場 所 ロシア村内 マンモス博物館
・営業時間 午前9時～午後5時
・問い合わせ 新潟ロシア村 ☎0250-63-1111 FAX 0250-63-2800

小浜氏は、江戸駒込の吉祥寺を菩提寺とし、本所林町に旗本屋敷がありましたが、領地一九か村を支配するために、沢海に代官所を設置し、家臣を常駐させて領内の統治に当たりました。

また、「会所」と呼ばれる支配機構を整え、領内の有力者を会所役人として登用し、各村々への示達や連絡・調整、及び年貢上納等の任に当たりました。その会所役人は「郡中取締役」と呼ばれ、文政十二年(一八二九)年から天保二(一八三一)年にかけては、下木津村庄屋石井五郎右衛門、小杉村庄屋中川

寛治、指出村(現見附市)庄屋大橋忠兵衛の三名が取締役に任命されていきました。領内からは「御定金」等の年貢金が沢海会所を通じてまとめられ、毎月江戸の旗本屋敷へ上納されていきました。天保二年には、一六〇〇両の年貢金が十二か月に分割されて毎月届けられています。(近世部会 後藤一雄)

第5回阿賀野川
写真コンテスト

建設省北陸地方建設局阿賀野川工事事務所の主催による写真コンテストへの応募が、今年6月末で締切られました。三四名一〇六名の応募があり、厳正な審査の結果、横越町からは、横

越上第一計画区「土地の地籍調査終了」
横越上第一計画区「土地の地籍調査」は、八月四日付登記完了をもって終了しました。

俳句

句題 夏の雲・冷奴・鮎

- (公募作品 高点句者)
- 牧牛の肩盛上がる夏の雲 (横越)
 - 鮎酒や川にせり出す季節茶屋 (木津)
 - 神棚のとなり魚拓鮎の宿 (横越)
 - 串焼きの鮎をこぼるゝ化粧塩 (木津)
 - 菅笠は父の分身夏の雲 (木津)
 - 釣り上げし鮎日輪におどりけり (二本木)
 - 取り廻す葉味の葱や冷奴 (木津)
 - 控え目に暮して老いて冷奴 (横越)
 - 打紙の音響くドックや夏の雲 (横越)
 - 夏雲や小川に浸す干割桶 (二本木)

9月資源ごみ収集日

地区	収集日
横越・川根谷内	9日(火)
	30日(火)
その他の地区	11日(木)
	25日(木)

7月資源ごみ収集実績

空きびん	7.1 t
空き缶	5.4 t
古紙	20.3 t
合計	32.8 t